

特定非営利活動法人しみん基金・こうべ

平成 27 年度事業計画書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

はじめに～平成 27 年度基本方針

平成 26 年 9 月 24 日、当基金の創設以来理事長を務めてきました黒田裕子が、その生涯を閉じました。20 年前にここ神戸で花開いたボランティア文化の火を灯し続けるために創設された当基金は、これからも末永くそのご遺志を受け継いでまいりたいと存じています。

平成 27 年 1 月 17 日、阪神・淡路大震災から 20 年を迎え、いろいろな場所でこの 20 年のあゆみを振り返り、これからの未来に歩むべき道筋についても多くことが語られました。

しみん基金・こうべでは、3 年ぶりに女優の竹下景子さん(当基金・顧問)を迎え「詩の朗読とメモリアルコンサート」を、主催の復興支援コンサート実行委員会の構成団体のひとつとして企画・開催し、詩のこぼのチカラを通じて、この 20 年のあゆみを振り返る機会を多くの方々に提供しました。また、発災から 4 年を迎える東日本大震災の被災者を支援する「ずっと・こころ・つなぐ基金」の一貫として、ドキュメンタリー映画「うたごころ」上映会をコープこうべと共催で平成 27 年 3 月に開催しました。また、2004 年から継続している古着チャリティ事業では、クリーニング店舗との提携による古着回収増強策をすすめてきました。

一方助成事業は、従来からの「次代の市民活動の担い手育成を重視する」に加えて「地域との連携の観点を重視する」というテーマを掲げて実施しました。そして、平成 26 年 10 月に開催した公開審査会の結果、9 団体(一般枠;6 団体、特定枠;3 団体)の各事業に合計 258 万 4 千円(一般枠;168 万 4 千円、特定枠;90 万円)の助成金を交付し、助成を受けられた団体の各事業を通じて、20 年前の KOBE での経験が受け継がれていくようにしてきました。

また、ひょうごボランティア基金の助成を受けて、「中期計画をつくろう講座」を開催し、神戸・兵庫地域の NPO 法人等に計画づくり個別訪問によるアドバイスを通じて、NPO 経営層のマネジメント能力の向上を図り、これまでの資金面の支援だけでなく、運営面からも顔の見える関係性の中で市民活動の支援を推進してきました。

さて、今年度は一昨年策定した中期(3 ヶ年)計画の最終年にあたります。”社会に向き合う「参画」と「連携」を深める“というコンセプトの下、3 つの目指すべき方向性として

- 1) 助成先選考のプロセスに支援者を参画させる
- 2) 気軽に小口で多様な寄付機会をつくる
- 3) 多様なセクター間の連携で社会的課題の解決に立ち向かう

を設定してきましたが、現時点でのその達成度は、残念ながら芳しいものとは言い難いです。事務局の人員増強は図られたものの、上記の中でも最も肝心な多様な寄附機会の提供などによる寄附受入拡大策は、思ったような成果をあげられずにいます。

そこで今年度は、多様な寄附機会の開拓・企画を実現に向けて推進すること、及びそのための信用力をつけるためにも認定 NPO 法人格を取得すること、を重点的に進めることとし、ここ数年続いている赤字体質から抜け出すための道筋をつけることに注力いたします。

この平成 27 年度基本方針を受けて、下記のとおり事業を計画することとする。

1 助成事業

ア) 平成 27 年度しみん基金・KOBÉ 助成事業 →担当理事:村井

- ① 助成方針 A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する
- ② 助成金額 → 総額 300 万円(+5 万円)
 - ・一般枠:一般枠には 200 万円を充てる。1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ上限は 50 万円。
 - ・特定枠:特定枠には 100 万円を充てる。1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ上限は 30 万円。
対象は「東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動」とし、その原資は「東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金(愛称:ずっと・ところ・つなぐ基金)」から拠出。
 - ・しみん基金 KOBÉ 特別賞:当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し、応募団体の中から 1 団体を理事会で選考。賞金 5 万円。
 - ・助成事業対象期間:1 年間(2015 年 10 月～2016 年 9 月)
- ③ 応募要項・申請書式:助成方針 A、B は、どちらかでも OK であるような要項と書式をつくる。
- ④ 審査員 :審査員長は森崎氏。審査員は下記の通り。

	お名前	ご所属
審査員長 再任	森崎 清登	近畿タクシー株式会社
再任	立木 茂雄	同志社大学社会学部
再任	清水 勲夫	(財) 野外活動協会
再任	中瀬 勲	兵庫県立人と自然の博物館
再任	相川 康子	(特活)NPO 政策研究所
再任	河口 紅	(特活)さんぴいす
再任	髯本 郁	あじさい基金、(特活)神戸の冬を支える会
再任	津久井 進	弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所
再任	中島 淳	神戸芝居カーニバル実行委員会
再任	山田 剛司	社会福祉法人えんぴつの家
新任	土居 和弘	毎日新聞神戸支局

- ⑤ スケジュール
 - 5～6 月:審査員・審査員長の就任承諾、応募要項の作成
 - 7～8 月:理事・審査員合同会議、広報告知・応募申請受付、個別相談会(～受付締切 1 週間前)
 - 9 月:受付検査・書類審査
 - 9～10 月:ヒアリング調査
 - 10～11 月:公開審査会、覚書締結・助成金交付、平成 26 年度事業成果報告書回収
 - 12 月:平成 26 年度助成事業成果発表会
- ⑥ その他の取り組み
 - ・助成先団体活動レポートの実施

2 寄付・募金活動

ア) 寄付受入

- ① 直接寄付 敬愛まちづくり財団:100万円他、個別訪問営業の実施 目標:270万円。

イ) イベント募金

- ① こうべあいーウォーク2016(協働)※神戸復興塾、神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション。協賛予定:近畿ろうきん。1月上旬開催予定。→担当理事:野崎。目標 15万円。
- ② ずっと・こころ・つなぐ基金上映会 →担当理事:村井、目標募金金額:3.5万円
 - ・作品:「友よ!大重潤一郎・魂の旅」
 - ・期間:4月~12月(月1回、場所は共催団体と要相談)
 - ・次回作品の検討

ウ) 職域募金

- ① あじさい基金(協働) ※神戸市職員有志(一口¥200/月40名) 目標:15万円
- ② 職域募金のしくみを新規開拓

エ) 協働企画寄付システム

- ① 古着チャリティ(協働) ※提携先:オレンジスリフティ 目標:50万円
 - ・クリーニング店との提携拡大
 - ・アースデイ神戸で出展、他イベントでの事業紹介・古着回収の検討
- ② 寄附付き商品(お菓子 de KIFU(仮称))の開発と試行 ※担当理事:福原
- ③ ろうきん NPO 寄付システム(協働) ※近畿労働金庫
- ④ 募金箱(自販機募金を含む)設置提携先の開拓 (14店舗→25店舗) 目標:6万円
- ⑤ まけないぞう寄附 ※被災地 NGO 協働センター

オ) その他

- ① Yahoo ネット募金
- ② インターネット等を活用した募金手法の開拓(Goodo、かざして募金)
- ③ もったいない系寄附手法の開拓(古本、海外通貨、書き損じはがき、不要切手・テレカ・商品券)
- ④ 「市民ファンド推進基金(仮称)」へ助成申請を寄附プログラム増強にて検討予定(10月申請予定)

カ) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行(年4回) → 巻頭言 or テーマ別特集
- ② メルマガの発行(年6回) → イベントのお知らせ、助成先団体活動レポートの掲載
- ③ HP、ブログやFBの更新など SNS の活用(週1回以上発信)
- ④ パンフレット改訂(役員交代、H26年度助成先団体など、2000部)
- ⑤ ポスター制作(古着チャリティ事業用、ずっと・こころ・つなぐ基金用)
- ⑥ 検索サイト広告(yahooYDN・google adwords)

3 中間支援事業

ア) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業

- ・初年度 中期計画づくり講座:座学5回程度、個別訪問アドバイス4回程度
受講3団体程度、11~3月ころ開催
- ・2~3年目団体のフォローアップ(希望団体のみ) PDCA サイクルの定着
- ・担当:事務局 助成金(ひょうごボランタリー基金:予定)獲得の検討

イ) 「阪神淡路大震災 20 年・黒田裕子さん追悼フォーラム事業

- 故・黒田裕子さん1周忌にあたり、その偉業を偲ぶとともに、これからの未来に向けて受け継ぐべき教訓を共有する場をもつことを目指す。
- ・開催時期:平成 27 年 11 月ころ
 - ・助成金(ひょうご安全の日推進事業助成又:予定)獲得の検討

ウ) NPO 支援活動

- ① アドバイザー派遣事業 (協働)
 - ・神戸市委託、神戸まちづくり研究所との協働 担当理事:野崎
 - ・5~3月、1団体程度、・NPO ステップアップ講座の企画・実施
- ② 組織基盤強化支援 支援先:(特活)環境市民 助成元:パナソニック NPO サポートファンド
- ③ 企業と NPO のマッチング事業 (協働)
 - ・(特活)コミュニティサポートセンター神戸との協働、協力:ひょうごボランタリープラザ
 - ・企業の CSR 推進室と連携して地域の NPO 活動事例紹介ミーティング開催(予定)
- ④ ファンドレイジング研究会事業(協働)
 - ・日本ファンドレイジング協会関西チャプターとの協働
 - ・平成28年2月頃、・講師・テーマは未定。
- ⑤ 講師依頼(随時)
- ⑥ NPO 間ネットワーク活動
 - ・ひょうご中間支援 NPO ネットワーク
 - ・中間支援 NPO と行政の意見交換会 主催:神戸市プラットフォーム
 - ・市民ファンド推進連絡会
 - ・関西財団の集い
 - ★その他各種講演・イベントへの共催やネットワーク等の活動への参画(必要に応じて随時)
- ⑦ ボランティア・ルーム利用企画の拡充
 - ・方針:次代の市民活動の担い手育成を重視する。・会員限定
 - ・中央区社会福祉協議会との協働(但し、当初の覚書、利用規約の範囲内)

エ) はあ〜とふるふぁんど支援事業の受託 →担当理事:瀬戸口

- ・委託元:はあ〜とふるふぁんど委員会(兵庫県遊戯業協同組合、神戸新聞社グループ)
- ・支援総額:1,500 万円予定(ボランティアあしすと部門&ふるさと地域振興サポート部門)
- ・受託事業収益金額:70 万円予定
- ・スケジュール 5月:今年度支援団体の決定
6月:今年度贈呈式
7月:前年度最終報告書回収
11~12月:次年度分応募要項の作成、新年度受託契約締結
1~3月:広報告知・応募申請・受付相談
3月:受付検査、1次審査

4 運営・管理

ア) 組織管理

- ・新理事長の互選／正式就任
- ・理事会構成メンバーと役割分担の検討(H28年度改選期にむけて)
- ・会員サービス(バースデイ・カード送付)を付加し、賛助会員拡大をめざす

イ) スタッフ

- ・スタッフ役割分担の明確化
- ・ボランティア・インターンの活用、ボランティア保険加入
- ・内部研修の実施及び外部研修への参加(随時)

ウ) 基盤整備

- ・認定 NPO 法人格取得
- ・定款・規程類の見直し
- ・データベース(寄附者等&支援先団体)の整備

エ) 会議

- ・総会(5月)
- ・理事会(5月、9月、10月、2月)
- ・四役運営会議(4月、6月、11月、1月、3月)

★その他、当基金の目的に関連する活動(随時)

月	助成事業	寄付・募金/情報発信	NPO 支援	運営・管理
4 月	助成先団体活動レポート(随時、年 6 回)	ずっと・こころ・つなぐ基金上映会(毎月1回) メルマガ発信	HF 予備審査	認定 NPO 法人格取得準備(~6 月) 決算業務 運営会議
5 月	審査員就任承諾	イベント出展(随時) メルマガ発信 HP・SNS発信(随時)	HF 本審査・結果通知 助成申請(講座)	会計監査 理事会 定時総会
6 月	応募要項作成	NL 発行	HF 贈呈式 助成申請(啓発)	市報告・法務局更新手続・新理事長交代手続 運営会議 認定 NPO 法人格取得申請書提出 会費納入依頼
7 月	理事・審査員合同会議 応募申請受付(~8月)	メルマガ発信	HF26 年度報告書回収 講座事業企画	
8 月	個別相談会		講座受講団体の募集	(現地調査)
9 月	受付検査 書類選考 ヒアリング調査	NL 発行		理事会
10 月	H26 年度分報告書回収 公開審査会	メルマガ発信 「市民ファンド推進基金(仮称)」へ助成申請	講座事業(~3 月)	理事会
11 月	覚書締結・助成金交付	メルマガ発信 ポスター制作	HF 次年度応募要項の検討 追悼フォーラム	運営会議
12 月	H26 年度助成事業成果報告会	NL 発行	HF 委託契約	
1 月		こうべあいウォーク メルマガ発信	HF 28 年度応募申請受付(~3月)	認定 NPO 法人格取得 運営会議
2 月			ファンドレイジング研究会	理事会
3 月		NL 発行	HF 受付検査 HF 審査資料作成	運営会議 事業報告・計画書作成

※HF=はあ〜とふるふぁんど支援事業の略。

NL=ニュースレターの略、講座=ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座の略。